

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和3年7月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.42)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



第1回各小・中学校の学校運営協議会より

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、5月から延期となっていた各校の学校運営協議会は6月末に開催されました。今回の協議会では、議事として「学校運営への意見」、熟議として「地域・家庭の取組（方策）」を話し合いました。特に、熟議では子どもたちのよりよい成長のために周りがどう対応したらよいか、どんな取組をすべきかについて意見交流をしました。その中から各校での主な意見を紹介いたします。なお、具体的に行う方策は第2回の協議会で決定することになっています。

【広尾小学校の熟議での主な意見】

- ・子どものよい所を引出す
- ・未来の広尾を考える場面づくり
- ・家族全員での家族会議をしてみる
- ・子どもの変化に気付く体制づくり
- ・子どもたちに企画運営をさせる
- ・最後まで話をさせる、考えさせる
- ・親から教わる広尾自慢
- ・先人の動き、行動をみて考える経験
- ・地域のコミュニケーションづくり
- ・地域の方のお話（リモート）を聞く



〈広尾小の学校運営協議会の様子〉

【豊似小学校の熟議での主な意見】

- ・子どもの得意なことを見つけてあげる
- ・地域の人との交流を進める
- ・やればできるという経験をさせる
- ・体を動かせる場をつくる
- ・子どもを叱る、褒める
- ・あきらめない力、自分を高める力をつける
- ・学校図書館の地域への開放
- ・困った時に地域の人に話せる場をつくる
- ・朝や日中の子どもたちへの声かけ
- ・休み時間を利用した体験活動



〈豊似小の学校運営協議会の様子〉

【広尾中学校の熟議での主な意見】

- ・家庭での日常会話を大切にする
- ・家族ぐるみで地域行事に参加
- ・適切なスマホ使用、活用の指導
- ・ICTを活用した外部との交流
- ・子ども同士で知恵を出し合うこと
- ・家庭学習やゲーム等の生活規律づくり
- ・大人が先回りして教えないこと
- ・あいさつを家庭からできるようにする
- ・家庭のW i - F i 環境の整備
- ・町の環境や産業を利用した体験学習



〈広尾中の学校運営協議会の様子〉

頑張れ広尾っ子：応援メッセージをいただきました

◇授業をしている動画を見ました。先生の話や前に出て黒板に答えを一生懸命説明している生徒の様子を生徒たちは静かに見守って、終わりには拍手をしている様子でした。他の授業風景もなかなか温かい雰囲気、見ていてほっこりしました。素直に育っている様子が感じられ嬉しくなりました。
(町内の方 6月23日受取)

◇授業のビデオを見ましたが、お互いに教え合う事は教える側は自信につながり、教えてもらう方は人のコミュニケーションと優しさを感じる取組に感心。先生の励ましの言葉が一人一人に掛けられている事で、自己肯定感が育つ教育に感心しました。人は死ぬまで人と関わって行かねばなりませんので、人と人とのコミュニケーションで生かされていると思います。世代間交流の中での人づくりが大事だと考えますので、頑張って応援していきたいと思います。高齢者も子供達に声をかけられます事にほっこり致します。

(町内 80代 女性 6月23日受取)

◇コロナの時代になってから「こんにちは」と挨拶しても無視されることが多くなりましたが、先に子供の方から挨拶する子もいますので安心していきます。

(町内 80代 男性 6月23日受取)

◇緊急事態宣言が解除されたためか、町中で部活動帰りの中高生の姿を見る機会が多くなりました。コロナ禍で活動が制限されていたので、大会に向けて一生懸命部活動に励んでいるかと思えます。私自身、中学生の部活動に携わる機会があり、中体連に向けて必死に練習している姿を近くで見っていますが、やはり子供達の頑張っている姿は良いものです。私自身も、もっと頑張らなくてはいけないと背中を押されます。少年団活動、部活動に励まれている子供達の努力が実りますように。

(町内 20代 男性 7月7日受取)